

## 情報連絡員報告を中心とした 県内の中小企業動向 &トピックス・1月

### ■菓子製造 【県下全域】

千葉県菓子工業組合（高橋弘之理事長）は、組合の統一ブランド商品「スイートポテト総（ふさ）そだち」を企画した。

これは2月に始まった「ちばDC」に合わせて商品化したもので、香取市などで収穫されたオレンジ芋とベニアズマが原料。組合が標準レシピを定め、事業に参加する組合員が個々に製造販売する。

### ■味噌製造 【県下全域】

業界全体で見ると18年1～11月の累計出荷量は0・7%減。輸出量を見ると業界全体で1～11月累計では対前年比11・35%増となっている。

### ■製材 【県下全域】

平成18年の新築住宅着工件数は129万戸で対前年比4・4%増と4年連続で前年を上回った。又木造も対前年比3%の増加となり、4年連続の前年比増となっている。

組合では木造需要の大半を占める住宅分野を中心として県民に県

産材の活用についての情報提供やアドバイスを行う「コーディネート養成講座」の案内をしたところ40名の定員に対して1週間前半数を超える応募があり、そのほとんどが建築関係者であり木に対する興味の高さが伺える。

### ■印刷 【千葉】

季節要因で前年比はマイナス、選挙関係で仕事量は若干増加した。

### ■生コン製造 【県下全域】

前月比、前年同月比ともに若干増加というところで、4～12月累計で前年比102%と微増。年初計画よりは好転である。

平成15・16年の底からは脱した感があるが、そこで上昇ストップの印象、コストアップ要因が多く採算的には厳しい。

### ■電気鍍金 【県下全域】

受注量は多少増加しているが、加工単価が下げられているため収益は低下している。

### ■鉄工 【千葉】

特段変化は見られない。

### ■建築材料卸売 【県下全域】

回復の兆しは感じられないが、悪化もしていない。

1月は前年を上回る出荷があり、年間では需要低下が予想より

少ないため、在庫不足が常態化した。その結果、荷練り支障が続いている。セメント価格も若干ではあるが上昇している。

### ■自動車解体 【県下全域】

年明け、非鉄金属の市況が急落した。投機筋の売りが入ったためとのことだが、その影響でワイヤーハーネスの価格が下がった。鉄スクラップは相変わらず強含み展開が続いている。

新車販売は登録自動車10%以上の落ち込みを記録し、きわめて低調。自動車解体業界の玉不足状況も変わらない。国内中古部品市場がパツとしない。

### ■食肉卸売 【県下全域】

前年同月比、前月比ともに減少するものその他で不変のため組合としては変化するほどではない。

### ■小売 【柏】

正月の福袋は昨年をかなり下回った。また、見切りに入った冬物衣料品も気温が高く売れ行きは良くない。

### ■小売 【東金】

正月の人数が減少傾向にある。暮れと正月の区切りがなくなってきた。冬のバーゲンも気候が暖かく重量衣料、暖房関係商品等の動

きが鈍かった。

### ■小売 【野田】

元旦の福袋セールは好調であったが、正月明けのバーゲンセールは半数以上の専門店が昨対を割ってしまった。

### ■電気機器小売 【県下全域】

期待の薄型テレビも急激な単価ダウンにより買え控え状況になっている。

### ■中古車仕入・販売 【県下全域】

07年の直販動向のすべり出しは、まずまずのスタートになったが、内容面ではやや不満がある展開になっているようだ。大都市圏はまずまず以上といえるのに対し地方市場は手ごたえ不足が目立つ。

2月上旬にかけてはかなり慎重な引き合いになりそうである。（直販も輸出も伸び悩みで盛り上がり不足が目立つとみている）

### ■農業機械販売整備 【県下全域】

来年度から農水省の基本スタンスは方針展開により品目横断的経営安定対策がスタートして、日本農業を担う担い手の認定農業者や集落営農者に集中してくる。これ等からの支援を得る為には「農機整備事業」を経営の柱のひとつに控える要あり。特にコスト引き下

げ要求の高まる中、トータルコスト低減の切り札になる。

### ■商業・サービス 【松戸】

聖徳大学の学生有志が、松戸駅周辺の商店街活性化の手伝いをするボランティア組織「聖徳Pies（ピース）」を立ち上げた。期待される内容は地図やホームページを作成して商店街や

店をPRする。また、高齢者の買い物支援や街路の掃除などの活動を通して商店街の賑わい創出を図るといふもの。

### ■小売・サービス 【習志野】

18年は、前年対比マイナス2%であった。

10年前から世代交代が行なわれているが、それができない店はそのまま閉店になってしまう。古い人間（経営者）は、なかなかやり方を替えることができない。

### ■建設揚重 【県下全域】

需要が多く操業度は上昇している。反面一部に感じきれないケースも出てきている状態である。

### ■学習塾 【県下全域】

今月は毎年の事ながら、私立を専願にして合格が確実になった中3生が、ぼろぼろと抜け落ちる月である。